

## 研究成果の刊行に関する一覧表

### 1. 論文

Nagai A, Ri I, Muto K. Attitudes toward genomic tumor profiling tests in Japan: patients, family members, and the public. J Hum Genet. 2019 May (Epub 2019 Jan 10);64(5):481-485, doi:10.1038/s10038-018-0555-3.

Takashima K, Maru Y, Mori S, Mano H, Noda T, Muto K. Ethical concerns on sharing genomic data including patients' family members. BMC Medical Ethics 2018;19:61.

中田はる佳, 高島響子, 吉田幸恵, 永井亜貴子, 平沢 晃. フィンランドにおけるゲノム医療関連政策の動向. 家族性腫瘍. 18(2):42-47, 2018.

### 2. 書籍

高島響子, 武藤 香織. 「第 7 章 3. ゲノムシーケンス解析の臨床応用における倫理的配慮」, 『遺伝子医学 MOOK34 号「臨床応用に向けた疾患シーケンス解析」』. メディカルドゥ, 2018 年 11 月: pp. 205—211.

高島響子. 「Case10 臨床現場で患者試料を採取する研究」, 『医学研究・臨床試験の倫理 わが国の事例に学ぶ』. 井上 悠輔, 一家 網邦 (編), 日本評論社, 2018 年 9 月: pp. 186-202.

高島響子. 「網羅的ゲノム解析時代における倫理的法的社会的課題 遺伝情報に基づく差別に対する諸外国の法的規制の動向」, 『遺伝子医学 MOOK 別冊シリーズ:最新遺伝医学研究と遺伝カウンセリング シリーズ 3「最新多因子遺伝性疾患研究と遺伝カウンセリング」』. メディカルドゥ, 2018 年 6 月:266-271.

丸 祐一. 「第 8 章「権利の本質と価値」」, 『倫理学と法学の架橋』(J・ファインバーグ著 嶋津格・飯田亘之編集・監訳), 東信堂, 2018 年

### 3. 学会発表

吉田晶子, 稲葉慧, 中田はる佳, 高橋政代. 本邦における遺伝医療専門職の抱える課題についてのインタビュー調査. 第 42 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会(仙台), 2018 年 6 月 29 日 ~ 7 月 1 日

田代志門. 遺伝医学分野における研究規制の動向. 第 25 回日本遺伝子診療学会大会シンポジウム(伊勢), 2018 年 7 月 13 日

永井亜貴子, 李怡然, 武藤香織. がん遺伝子パネル検査に関する患者・家族の態度 (1) ~ がん遺伝子パネル検査の認知度と検査に関する期待および懸念 ~ . 日本人類遺伝学会第 63 回大会(横浜). 2018 年 10 月 11 日

李怡然, 永井亜貴子, 武藤香織. がん遺伝子パネル検査に関する患者・家族の態度 (2) 遺伝性腫瘍に関する結果の家族内共有. 日本人類遺伝学会第 63 回大会(横浜). 2018 年 10 月 11 日

Haruka Nakada. Utilization and issues of Biobank in Japan. Finland-Japan Healthcare ICT

Symposium, 2018/10/11, gumi Co., Ltd (Tokyo, Japan).

田代志門. がん遺伝子パネル検査と倫理(特別企画シンポジウム 1 Precision

Medicine の検証 遺伝子診断:ゲノム医療の実用化). 第 56 回日本癌治療学会学術集会(横浜), 2018 年 10 月 18 日

中田はる佳. 次世代医療基盤法の解説. 第 15 回 DIA 日本大会(有明). 2018 年 11 月 19 日.

中田はる佳. 未承認医療技術への患者アクセスに関する国際状況—米国 Right-to-try 法を中心に—. 第 30 回日本生命倫理学会年次大会(京都). 2018 年 12 月 9 日.

吉田晶子, 中田はる佳. 遺伝子解析研究において遺伝医療専門職が経験した困難事例. 第 30 回日本生命倫理学会年次大会(京都), 2018 年 12 月 9 日

高島響子. 患者家系員を含むゲノム研究のデータ共有における倫理的懸念, 日本生命倫理学会第 30 回年次大会(京都), 2018 年 12 月 9 日.

高島響子. 遺伝子診療の関わる倫理的課題, 第 4 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会(東京), 2018 年 12 月 14 日

平沢 晃. データシェアリングとバイオバンクの国際動向, 研究倫理を語る会(名古屋), 2019 年 2 月 19 日